

交流自治体との連携で共存共栄

10日、杉並区役所では、交流関係にある新潟県小千谷市の物産展が開催され、多くの来場者でにぎわいました。この企画は、交流自治体の魅力を区民に伝えるとともに、交流自治体間の交流や連携を強める目的で定期的に開催されています。また、小千谷市では、7月14日に交流自治体の連携と課題の共有によって、都市と地方がともに輝く地方創生を目的に、「第四回地方創生・交流自治体連携フォーラム」を開催することになっています。

10日、杉並区役所玄関前では、交流自治体の新潟県小千谷市の特産品を販売する「小千谷ふるさと市場」が開催されました。市場では、小千谷名物の笹団子や魚沼産コシヒカリ米のほか、昆布巻きや棒だらなどの惣菜、米菓などの米どころ新潟の特産品が多数販売され多くの買い物客でにぎわいました。

杉並区と新潟県小千谷市は、平成16年5月12日に、「災害時相互援助協定」を締結しました。区の交流自治体は、小千谷市を含め国内に10の自治体が存在し、その取り組みは災害時の相互支援や物産展の開催、小中学生の交流など多岐に渡ります。



こうした交流自治体間の交流・連携の積み重ねによって、設置されたのが「地方創生・交流自治体連携フォーラム」です。平成27年7月に第一回フォーラムを北海道名寄市で開催。少子高齢化の中で生まれる様々な課題を共有し、それぞれの自治体を持つ強みで解決に向けて取り組んでいく。そうしたことで、都市部と地方の共存共栄を目指しています。

第四回地方創生・交流自治体連携フォーラム

1 開催日・場所

- 日 時 平成29年7月14日（金） 午後2時～4時
- 場 所 小千谷市総合産業会館サンプラザ 3階ホール

2 連携フォーラム参加者（予定）

名寄市長 加藤剛士、東吾妻町長 中澤恒喜、小千谷市長 大塚昇一、北塩原村長 小椋敏一、南相馬市長 桜井勝延、青梅市副市長 池田央、忍野村副村長 天野寛、南伊豆町長 岡部克仁、杉並区長 田中良、東京大学名誉教授 大森彌ほか

3 フォーラムの内容

討議テーマ「2020年を見据えて、地域の魅力を活かす」